

平成19年度特別会計・水道事業会計予算を可決

引き続き水道施設の整備を促進

平成19年度予算を、文教厚生常任委員会で構成する第2予算審査特別委員会を設置して審議しました。慎重に審議した結果、予算を可決しました。



建設中の久留米市西部（旧三潞郡）配水場

平成19年度特別会計・水道事業会計予算の一覧表

会計名		予算額	前年対比	主な内容	
特別会計	国民健康保険	17億964万8千円	1億3435万7千円(8.5%)の増	歳出 ・保険給付費10億8171万円	
	老人保健	15億7333万7千円	3825万2千円(2.4%)の減	歳出 ・医療諸費15億7065万2千円	
水道事業会計	収益的	収入	2億1893万7千円	1729万4千円(8.6%)の増	・給水収益2億247万円
		支出	1億6183万5千円	38万円(0.2%)の増	・水道企業団からの受水費7971万3千円
	資本的	収入	4億522万円	2770万円(7.3%)の増	・第1期拡張事業にともなう借入金1億6490万円
		支出	4億4175万7千円	3721万1千円(9.2%)の増	・第1期拡張事業費4億4085万3千円

* 水道事業会計の資本的収入額が支出額に対して不足する3653万7千円は、留保資金で補てんする。

* 水道の第1期拡張事業の内容：配水管布設工事（3路線、2380m）、久留米市西部配水場建設負担金

委員会の

審査報告（概要）

国民健康保険

■ 税務課と健康福祉課保険医療係合同で、滞納税の徴収や納税相談などを実施しているが、なお一層徴収に努められたい。

■ 退職被保険者の増加により、退職者の医療費が増加している。

■ 介護認定者の増加により、介護納付金が増加している。

■ 年々の医療費増加を防ぐため、各種健康事業を開催し、多受診者、重複受診者宅への訪問指導も行っている。今後も健康づくり事業の充実とレセプト点検の強化に、なお一層努められたい。

老人保健

■ 平成20年度から市町村運営の老人保健に替わり、県内全市町村加入の広域連合が運営する後期高齢者医療制度になるが、依然として老人医療費が高額であるため、適正受診の訪問指導に努められたい。

水道事業

■ 第1期拡張事業に多額の予算を計上しているため、町民の負担が生じないよう、計画的に事業を遂行されたい。

■ 資本的収入額が支出額に対して不足する3653万7千円を内部留保資金で補てんすることだが、資金を明確にしておく必要がある。